

事業所名

こころと育ちの支援 のびや花

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

17日

法人（事業所）理念		一、療育は人なり、親子で幸せに生きていける力を育みます。 二、遊びを通じて、そだちのサポーターになります。 三、自分自身が楽しみ、みんなに笑顔と幸せを提案します。					
支援方針		子どもたちの困り感について、脳のネットワーク機能の障害に基づいた視点と5領域を網羅した視点で捉え、アセスメントを実施します。アセスメント結果を分析し困り感の理由を分析してきます。また、活動に子どもたちを無理に合わせるのではなく、子どもたち一人ひとりに適応した活動を提供するため、個別または小集団での活動を計画・実施します。					
営業時間		10時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	お子様の5年後、10年後を考えて、自分のことは自分でできるようになるために必要なライフスキルを身につけ子どもの自立をサポートします。					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・「走る」「ジャンプ」「くぐる」「しゃがむ」などの基本動作やお友達とチームになって遊ぶことで相手への力加減や距離感を学べるよう支援していきます。 ・様々な「感覚」「機能」の力を手に入れることができるよう作業療法士がすすめる68の遊びを工夫して実践していきます。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して「集中力」が増すことで落ち着きが生まれ、「やる気」「自信」が育まれるよう支援していきます。 ・読み、書き、聞く、見る、推測する力の土台を築くために、眼球運動や視知覚、音韻意識、記憶力を総合的に支援します。これにより、集中力や注意機能、課題処理能力を高め、学習や日常生活の困難を軽減し、自信を持って取り組める力を育みます。(アセスメントを基に個々に応じた支援課題を実施します) 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで力を合わせる楽しさ、目標への達成を実感することで子どもたちの「思いやり」が育まれるよう支援していきます。 ・視覚的・聴覚的指示理解を支援し、指示を正確に理解し行動に移す力を育てます。発話意欲や語彙、語想起の力を高め、発達を促しながら伝える力や説明力を支援します。 					
	人間関係社会性	ルール遊びを通じて、言語指示の理解や自己コントロールを支援し、相手の気持ちを考える機会を提供します。さらに、注意の切り替えや感情の抑制機能を高めることで、場面に応じた適切な行動が取れるよう支援します。また、相手の立場を理解し共感する力を育てることで、協力や対話を円滑に進める社会性の発達を促します。					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達状況や特性の理解を深めるため、定期的に相談援助を実施します。 ・日々の活動での子供の様子や成長をこまめにお伝えすることで情報を共有しながら子ども成長を見守っていきます。 			移行支援	子どものアセスメント結果や個別支援計画書など支援内容に関する情報をモニタリングや担当者会議、面接を通じて共有します。	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントの参加 ・ボランティアによるアクティビティ ・各種関係機関（保育園、幼稚園、学校、相談員）との連携を図る。 			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修、カンファレンス ・外部研修会への参加 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・外出訓練（地域のお祭りやイベント参加、お買い物経験など） ・季節のイベントを取り入れた活動（夏祭り、ハロウィンイベント、クリスマス会、忘年会、新年会など） ・保護者参加型研修会、茶話会、参観日 					